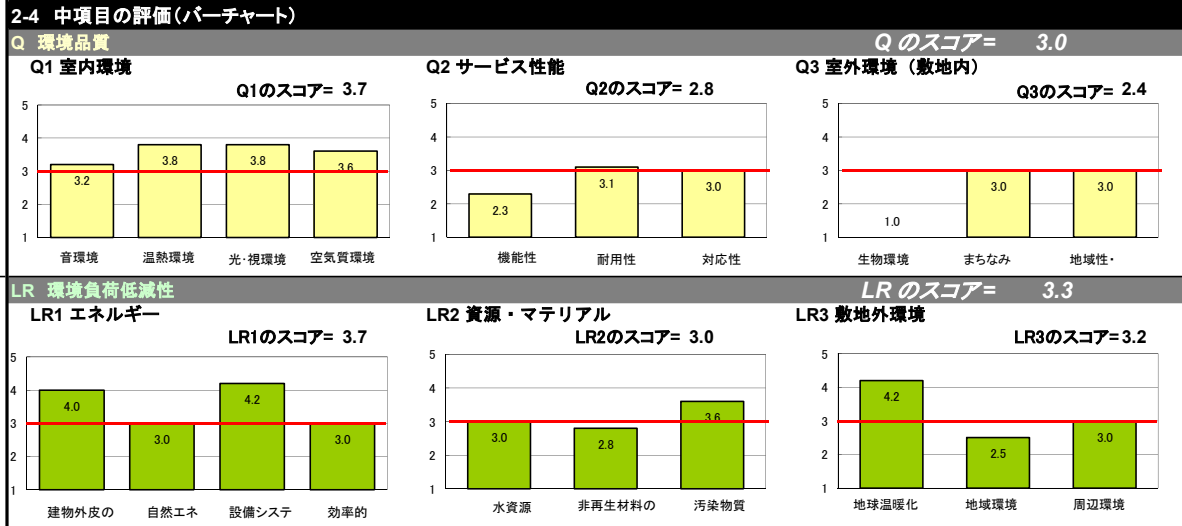
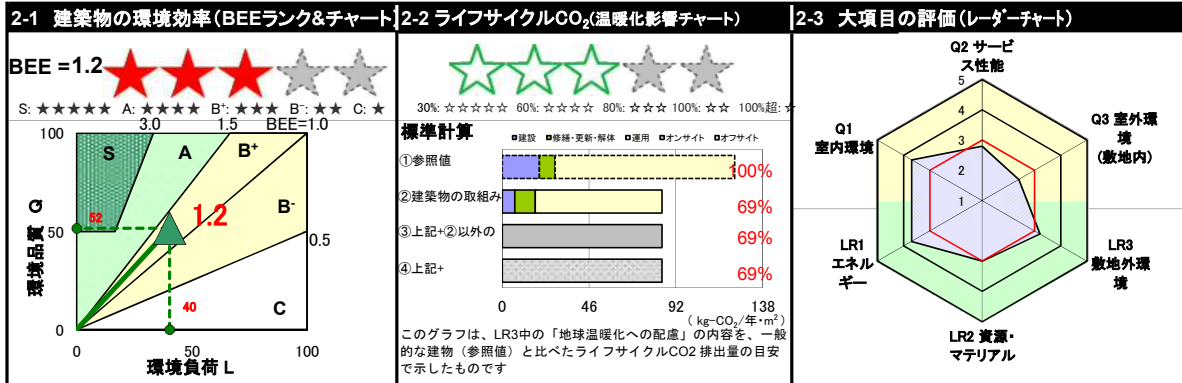


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)リコト安城日の出町	階数	地上15F		
建設地	安城市日の出町204.205	構造	RC造		
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	192 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2019年1月8日		
敷地面積	824 m ²	作成者	成瀬 徳行		
建築面積	274 m ²	確認日	2019年1月8日		
延床面積	3,509 m ²	確認者	成瀬 徳行		



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">4.2</p> 	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">30.5 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.9</p> 	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$



3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.1	3.1	1.00	3.0
3.1	空間のゆとり			-	-	3.2	3.2	0.50	
1	1 階高のゆとり		設備の変更に対応できるよう配慮	-	-		4.0	0.60	
2	2 空間の形状・自由さ			-	-		2.0	0.40	
3.2	3.2 荷重のゆとり		コンクリート設計基準強度27000~33000N/㎡	-	-		3.0	0.50	
3.3	3.3 設備の更新性	②		3.0	1.00			-	
1	1 空調配管の更新性			-	-			-	
2	2 給排水管の更新性			3.0	0.20			-	
3	3 電気配線の更新性			3.0	0.13			-	
4	4 通信配線の更新性			3.0	0.13			-	
5	5 設備機器の更新性			3.0	0.27			-	
6	6 バックアップスペースの確保			3.0	0.27			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	-	2.4
1	1 生物環境の保全と創出	独自③		1.0	0.30			-	1.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	独自④		3.0	0.40			-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			-	3.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		3.0	0.50			-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR1 エネルギー				-	0.40		-	-	3.7
1	1 建物外皮の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4に相	4.0	0.33			-	4.0
2	2 自然エネルギー利用			3.0	0.17			-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		「BEI」=0.89	4.2	0.33			-	4.2
4	4 効率的運用			3.0	0.17			-	3.0
	集合住宅以外の評価								
4.1	4.1 モニタリング								
4.2	4.2 運用管理体制								
	集合住宅の評価			3.0	1.00				
4.1	4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2	4.2 運用管理体制			3.0	0.50				
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.15			-	3.0
1.1	1.1 節水			3.0	0.40			-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			-	
1	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00			-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無							-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.63			-	2.8
2.1	2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07			-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24			-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自		3.0	0.20			-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05			-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		3.0	0.24			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			-	3.6
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用		ノホルマリン系・ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の接着剤を使用	5.0	0.32			-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			-	
1	1 消火剤			-	-			-	
2	2 発泡剤(断熱材等)			3.0	1.00			-	
3	3 冷媒			-	-			-	
LR3 敷地外環境				-	0.30		-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値 69%	4.2	0.33			-	4.2
2 地域環境への配慮				2.5	0.33			-	2.5
2.1	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			-	
1	1 雨水排水負荷低減	独自		3.0	0.25			-	
2	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			-	
3	3 交通負荷抑制	独自	適切な駐車スペースの確保	5.0	0.25			-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			-	
1	1 騒音	独自		3.0	1.00			-	
2	2 振動	独自		-	-			-	
3	3 悪臭			-	-			-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			-	
1	1 風害の抑制			3.0	0.70			-	
2	2 砂塵の抑制							-	
3	3 日照障害の抑制			3.0	0.30			-	
3.3	3.3 光害の抑制			3.0	0.20			-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			-	
2	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート
 (仮称)リコット安城日の出町

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.2	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:30.5%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>外装には、アースカラーを採用し、周辺環境に配慮。 断熱性能及び熱負荷抑制に配慮し、省エネ性が高まるよう計画。</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>窓については遮音等級T-2を採用。 採光・通風をできる限り確保し、居住性を高めるように配慮</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>CATVやインターネットの集合一括サービスによる情報通信設備の充実、 また、管理室を設け建物の維持管理に配慮</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>防犯カメラの設置、遠隔監視システム、オートロックシステム、進入防止格子 等により防犯性に配慮</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>共用部の照明はLEDを使用し、給湯設備の効率を上げ、 消費エネルギーの低減に配慮</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>有害物質を含む材料を極力使わないようにし、 各接着材料の化学物質排出はないものを使用。</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>敷地内にて出来る限り建物を南へ配置し、周辺建物へ日影の影響を低減。 騒音等 法令を遵守し、地域環境に悪影響を与えないように配慮</p>
その他	